

議事要旨(5) 金融商品専門委員会における検討状況 (FASB公開草案「金融商品」対応) について

冒頭、加藤副委員長 (専門委員長) から、FASBより5月に公表された公開草案「デリバティブ及びヘッジ (Topic815) 並びに金融商品 (Topic825) : 金融商品に関する会計処理並びにデリバティブ金融商品及びヘッジ活動に関する会計処理の改訂」(コメント期限9月30日) に対するコメントについて、第70回金融商品専門委員会 (9月6日) でコメント案の検討を行ったこと及び今回の審議を踏まえてFASBへコメントを提出する旨の説明がなされた。説明の後、委員からの主な発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ある委員から、コア預金負債については、金融機関によっては何らかの測定を行い、管理会計等において利用されているものと理解しているが、その測定手法は必ずしも企業間で統一されておらず、財務諸表で示すほどの有用性はないものと認識しているとの意見があった。
- あるオブザーバーから、分類及び測定の Q13 に対するコメント案について、冒頭の記載が全体のコメント案の論調と比べやや異質なものであることから、表現の工夫が必要ではないかとの意見があった。この点について、事務局から、FASB の考え方を理解していることを示すためにその旨記載しているが、そのような意見を踏まえ、記載の仕方を内部で検討すると回答された。

以 上